

健康通信

2025年7月15日
NO.43

熱中症に注意しましょう（その2）

《感染症の動向》

■新型コロナウイルス感染症（NB.1.8.1）は、ここ3週間連続で増加してきています。ここ1週間では沖縄がダントツで16,36人、山梨県3,26人、千葉県3,11人と続いています。お盆が過ぎた頃、沖縄県から全国に広まって行く可能性があります。

■麻しん感染症は、埼玉県の方から患者が見られます。

《令和7年度検診事業》

■特定健診・後期高齢者特定健診を行っております。

■胃がん検診（レントゲン）・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・骨粗しょう症検診・もの忘れ検診を行っておりますが、診察とは別日でお願いしています。

《带状疱疹ワクチン接種》

■生ワクチンまたは組み換えワクチンの予約接種を行っております。（要予約）

《成人用肺炎球菌ワクチン接種》

■年度内65歳の方を対象に行っております。（要予約）

《休診のお知らせ》

- 臨時休診 7/19（土）
- 夏季休診 8/9（土）～8/15（金）（8/16より通常診療）
- 第五土曜日休診 8/30（土）

《登坂憲吾（循環器内科専門医）外来診療日》※予定

7/28（月） 8/2（土） 8/16（土） 8/18（月）
9/27（土） 9/29（月） 10/4（土） 10/6（月）
10/18（土） 10/20（月）

《熱中症・その2》

先月は、熱中症とその予防についてでしたが、今月は熱中症の種類と状態についてです。

① **日射病**は熱中症の中で軽症な状態で、直接日光が原因のもので、日焼けと熱による熱中症です。日焼け部分は水膨れになり、表皮がむけ、痛みがあり、寝ることができなくなったり、発熱も見られますが、水分を摂っていれば、いずれ治ります。

② **熱中症**は高温多湿が原因となり、体温を一定に保つ働きが適切に機能しなくなって起こります。

1) 日常生活の中で起こる「非労作性熱中症」

2) 労作中に起こる「労作性熱中症」

・・・製造業・建設業等では熱中症予防管理者をにおいて、現場での予防/対策が必須です。

一般的な涼しいところでの休息や体温を下げる対策と水分摂取が必要ですが、点滴などの積極的な治療が必要となる事もあり、腎不全による電解質バランスが崩れ、これの補正が必要になります。

③ **熱射病**は熱中症の中で最も重い状態で、体温調節機能が破綻して体温が40度以上になり、脳の機能低下から意識障害、高度な皮膚の乾燥が見られ、血管内血栓症から多臓器不全が出現して、各臓器が不可逆的な状態となり、死に至ることになります。

※認知症のある高齢者では、

1) 空調のリモコンが使えず壊れたとって熱中症になる。2) リモコンが暖房28度になっており室内は32度以上になり熱中症になる。3) 寒い寒いと言っては服の重ね着が見られ熱中症になる。4) 飲んでいるといっても水分を十分飲んでおらず熱中症になる。